



読書の秋 2020



翻訳家 原正人を囲んで 翻訳ワークショップ



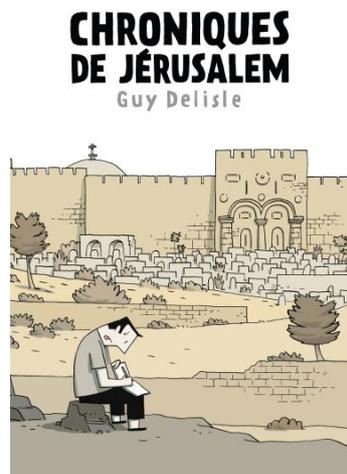
1974年静岡県生まれ。バンド・デシネを精力的に紹介する翻訳家。フレデリック・ペータース『青い葉』（青土社）、トニー・ヴァレント『ラディアン』（飛鳥新社）、ジャン・レニョ&エミール・ブラヴォ『ぼくのママはアメリカにいるんだ』（本の雑誌社）、バステイアン・ヴィヴェス『年上のひと』（リイド社）、ダヴィッド・プリュドム『レベティコ—雑草の歌』（サウザンブックス社）などバンド・デシネの翻訳多数。小説の翻訳にアンヌ・ヴィアゼムスキー『彼女のひたむきな12カ月』、『それからの彼女』（いずれもDU BOOKS）、グカ・ハン『砂漠が街に入りこんだ日』（リトルモア）がある。

プログラム

BDの紹介

翻訳ワークショップ

トニー・ヴァレント著 『ラディアン』1巻
ガイ・ドリール著 『エルサレム時評』



日時：11月14日（土）16h30～18h30

対象：レベルA2以上の方 定員：8名

申し込み締切：10月31日（事務局に直接お申込みください。

電話予約も可能です。）

参加費：2,500円

※ 参加される方はマスクの着用をお願いします。

